



7 8 9 60 1 2 3 4 5 6 7 8
7 8 9 70 1 2 3 4 5 6 7 8
7 8 9 80 1 2 3 4 5 6 7 8
7 8 9 8 1 2 3 4 5 6 7 8
7 8 9 7 1 2 3 4 5 6 7 8
7 8 9 6 1 2 3 4 5 6 7 8
7 8 9 5 1 2 3 4 5 6 7 8
7 8 9 4 1 2 3 4 5 6 7 8
7 8 9 3 1 2 3 4 5 6 7 8
7 8 9 2 1 2 3 4 5 6 7 8
7 8 9 1 1 2 3 4 5 6 7 8



天正五年



えり

あかくす事と水と経て
あらはれり

一の

四つのやさそりな初々

え方向

合年賀

此初々作くうろもひんのうと 痘瘍病
福くらうけり多きむその景、 已千
うくほりうきはのの和風、 一風
ほくねるやまくもえふせひ所 不乙
初窮で起てしらずやー 既小琴溪
せ室さく黒ツルだまし初門山里曉
きをもと何をもくちむ山の深
あくよくまくわこのゑぞめ 拙原
大猪やあらうけん山の深
小猪や深とおもや 茶の木 相里
神すくふかく根ハ一つの松 只樂

仰りまくらまくせう小鹿井
にふをふきよう川初日新巖
わあれや御くのちろ伸いサ仰是
みすくのめいこかくは伸い
とおまくらまくせう福寿井故
往いしまくわゆねや魚の店已能
さくの度えもむきのま枝之
まいもむれこの度えわゆ水素ト
そくの記うちうへくあひま
あ水マ酒井へたのうりれ壽
屋まふまく見てキタハ呂井

初かくらはく黄ひのを描く
是と毛うらひ初マ引の梅ル中
度くとおりれよーー被そーら和考
きらめくぬいのむかく井百原中

文通

初々く作くやうのむ りか 一
房玉里そ竹う極く初水 美水
ゆくもうみちて磨き研波 せり
ゆ市マむく夷も 素のう三公 菊水
生御前ううむよもを始 一葉
あおづりてをゆくらの山 宝山

辰ノ宗本末　お松一抄

呂宗

はる山のなあれとまふ年をも
まわるをく　ま　舞多き　保多仙
こまれむにけぬほくも工合みて　立中
あくほくとくるきのこゑ　お　梅原
おぼきが自らこじめとてり　眞井
豆くさくら小室母子一見　眞井
吹坐すてさいこのむ月の秋　彦父
立かねぬとゆねハ久一さ　巴千
主事院おう　神鬼もおみの様ねどうルセ

碎のそぞくは　破砾壁をき　足曉
行ふしむし　小朝の荒一風
お陽さやひといき　行　ふ乙
基麻度不　始方信とく　おまえ　知る
四物ノキの　いま枝葉　堅度
そとちよ　放のとく　仰のと　李周
ゆくももちくと　林と　松　　和琴
多のをしも　おもてう　年

